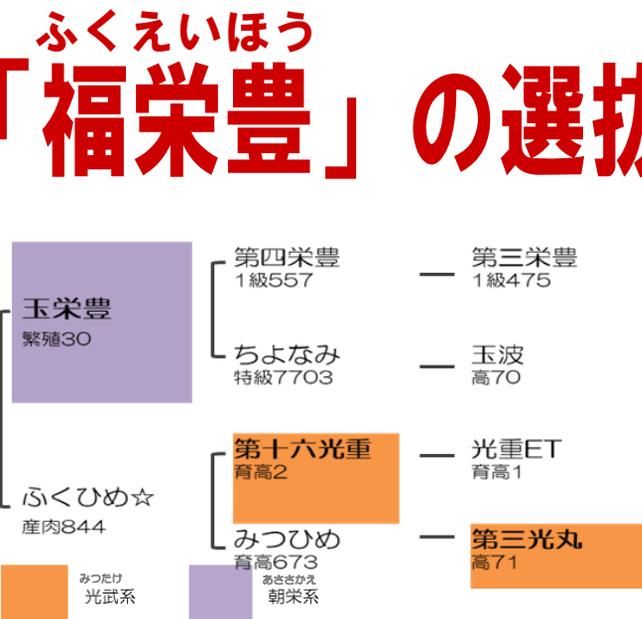


# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2020

## 褐毛和種種雄牛「福栄豊」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 朝栄系の「玉栄豊」を父とする稀少系統種雄牛でありながら、枝肉重量や脂肪交雑に優れ、遺伝的多様性の維持への貢献が期待されます。

### 【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 10 頭	25.0	505.8	58.3	7.7	3.4	72.6	4.10	50.0% (5/10)
雌 6 頭	25.4	463.6	56.3	7.7	3.2	73.2	3.50	33.3% (2/6)

### 【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	601kg
ロース	69cm <sup>2</sup>
バラ厚	8.8cm
BMSNo.	8
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	1.41
ロース芯面積	小さい							大きい	1.23
バラの厚さ	薄い							大きい	0.75
皮下脂肪	厚い							厚い	-0.01
脂肪交雑	少ない							多い	1.90

### 標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。